○

閖上地区防災マニュアル

～自分たちの地域を自分たちで守ろう～

“いざというとき„のために“今こそ„備えましょう

ひもを通して目立つところにおきましょう

家族で定期的に確認しましょう

名 取 市 ・ 閖 上 地 区

目　次

１．はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１

２．閖上地区の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１

３．過去の災害と教訓 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２

４．閖上地区の災害対応と行動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５

５．閖上地区の災害予防と行動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１１

６．閖上地区防災マップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１４

　閖上地区防災マップ【津波浸水予測版】 ・・・・・・・・・・・・Ｐ１５

　閖上地区防災マップ【洪水浸水予測版】 ・・・・・・・・・・・・Ｐ１７

７．平成２８年～令和２年の災害と教訓 ・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１９

８．我が家の防災メモ・防災カード ・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２０

９．マイ・タイムラインシート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２３

１０．名取市からの情報とさまざまな情報の入手先 ・・・・・・・・Ｐ２４

裏表紙　閖上地区の避難場所など

1．はじめに

名取市では、平成 25 年 12 月に東日本大震災の教訓や豪雨災害の経験を踏まえて作成した「名取市民防災マニュアル」に新たな知見や情報を加え、令和 2 年 9 月に新しい「名取市民防災マニュアル」を作成し、全世帯に配布しました。また、大規模災害による被害を軽減するためには、地域の実情に応じた防災対策を、名取市と地域の皆さんが一体となって実践していくことが重要と考え、市と地域の代表の方とで作成した「閖上地区防災マニュアル（暫定版）」を、平成 26 年 4 月に配布しました。

当時は東日本大震災からの復興途上であったため「暫定版」としていましたが、地区の復興も進んだことから、再び地域の代表の方に協力いただき、最新の防災に関する基準を加えて「閖上地区防災マニュアル」を作成しました。

2．閖上地区の概要

東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた閖上地区では、被災市街地復興土地区画整理事業により、新しいまちづくりが進んでいます。

地形・地勢

- 閖上地区は、面積が 8.38km^{2}で、東西に約 4～4.5km、南北に約 3～4km です。
- 東側は太平洋に、北側は名取川に面し、南側には増田川が流れています。
- 多くが標高 2～3m程度の低地で、津波や洪水で浸水しやすい地区です。

世帯・人口

- 閖上地区は高齢化率が高いので、日頃から隣近所顔がわかる関係づくりを行い、いざというときに声かけできるようにしましょう。
- 平成 30 年度に開校した閖上小中学校の児童生徒数は年々増加しています。

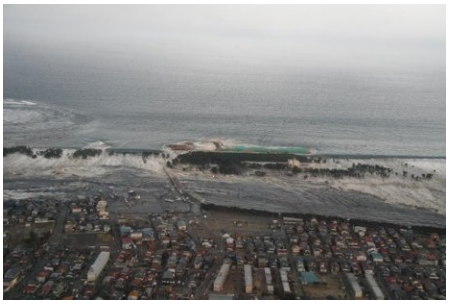
大字	世帯数	人口	乳幼児	高齢者 65 歳以上	その他 年齢層人口
閖上	821	1,769	155	517	1,097
小塚原	92	241	5	108	128
牛野	64	174	3	72	99
大曲	138	326	6	140	180
高柳	247	529	12	227	290
閖上地区全体	**1,362**	**3,039**	**181**	**1,064**	**1,794**
名取市全体	31,958	79,522	4,316	18,321	56,885

令和 3 年 2 月末現在

3．過去の災害と教訓

<table>
<tr><th>災害名称及び
災害発生年月日</th><th>災害による被害状況</th></tr>
<tr><td>チリ地震津波
昭和 35 年 5 月 24 日</td><td>5 月 21 日に南米チリで発生したマグニチュード 9.5 の地震により発生した津波が、数日後に日本に到達し、大きな被害をもたらしました。
名取市には、5 月 24 日早朝に津波が押し寄せ、閖上漁港から出港途中の漁船が転覆し、死者が出るなどの被害がありました。</td></tr>
<tr><td>宮城県沖地震
昭和 53 年 6 月 12 日
（仙台市で震度５）</td><td>ブロック塀の倒壊などによる死者、建物被害による多くの負傷者が発生し、都市ガスなどライフラインが停止しました。
名取市では、負傷者 200 人、全壊 17 棟、半壊 61 棟、一部損壊 1,623 棟の被害がありました。

倒壊した家屋※1
（閖上７丁目付近）</td></tr>
<tr><td>9・22 集中豪雨
平成 6 年 9 月 22 日
（時間雨量 84 ミリ、
累計雨量 478 ミリ）</td><td>樽水ダムが満水となり、増田川がはん濫したほか、川内沢川、志賀沢川などの中小河川がはん濫しました。
名取市では、軽傷 1 人、全壊 2 棟、半壊 2 棟、一部損壊 8 棟、床上浸水 946 棟、床下浸水 1,737 棟、河川の損壊 15 か所、道路の損壊 129 か所、がけ崩れ 35 か所などの被害がありました。

冠水した道路※1
（閖上７丁目付近）
閖上地区では床上浸水 24 世帯 61 人、床下浸水 178 世帯 679 人の被害がありました。</td></tr>
<tr><td>東日本大震災
平成 23 年 3 月 11 日
（名取市で震度６強）</td><td>マグニチュード 9.0 の巨大地震により、強い揺れが約 3 分間継続し、巨大津波等により 923 人（うち、閖上地区では 754 人）（令和 3 年 3 月時点）の市民が犠牲になりました。4 月 7 日の深夜には、名取市で震度 6 弱の余震も発生しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">●東日本大震災の教訓（津波避難後のアンケート結果より）
・大きな地震の後には津波が来る。高い場所や遠くにすぐに逃げる。
・災害時には早く避難する。津波警報や避難指示があったらすぐ逃げる。
・同じ犠牲を繰り返さないために、津波の怖さや自然の恐ろしさを伝承する。
・非常持ち出し品を準備し、いつでも持ち出せるようにする。
・日頃から逃げるシミュレーションをしておく。
・家族間で場面を考え、しっかり取り決めをしておく。
 
閖上の町に押し寄せる津波※1

浸水した閖上小学校※1

津波により折れた電柱※2</td></tr>
</table>

※1　「名取市デジタルアーカイブ」から引用　、※2　「東日本大震災アーカイブ宮城」から引用

震災後の防災対策とまちづくり

閖上地区では震災後、防災対策として仙台東部道路への避難階段の設置や、モーターサイレンの増設などが行われました。

・仙台東部道路に避難階段が設置されました

東日本大震災の際に、津波から逃れるために高さ約6m の東部道路に住民らが駆け上がり、難を逃れました。これを踏まえ、３ヶ所に避難階段が設けられました。

・モーターサイレンを増設しました

沿岸部の３ヶ所（日和山中継局、名取市斎場、下増田雨水ポンプ場）に設置されています。

大津波警報や津波警報の発表をお知らせするものです。

災害の種類	サイレンパターン
大津波警報	（3 秒吹鳴）　（3 秒吹鳴） 〇------〇　〇------〇　・・・・・（連続繰り返す） （2 秒休止）
津波警報	（5 秒吹鳴）　（5 秒吹鳴） 〇--------〇　〇--------〇　（2 回繰り返す） （約６秒休止）

巨大津波の襲来に備え、第１次防御ラインとしての防潮堤と、第２次防御ラインとしてのかさ上げ道路（市道閖上南北線、市道広浦北釜線）が整備されました。

また、内陸部へスムーズに避難ができる、避難道路（閖上港北線、閖上港線、閖上小塚原線、小塚原中央線）が整備されました。

内陸部への避難道路
（閖上港北線）

津波緊急避難場所として、閖上中央第一団地・閖上中央第二団地（集合）・閖上公民館・閖上小中学校、名取市サイクルスポーツセンターが指定されています。

また、隣接する下増田地区には、下増田小学校、まなウェルみやぎ、潜匠建設（株）、仙台空港ビルがあります。

津波緊急避難場所
（閖上中央第一団地）

東日本大震災の伝承と防災教育

震災の経験を伝承し後世に伝えることが重要です。

閖上地区では、様々な伝承活動と、防災教育が行われています。

震災メモリアル公園

「震災メモリアル公園（慰霊碑）」ができました。

東日本大震災では、震災メモリアル公園にある慰霊碑と同じ高さの（8.4m）津波が押し寄せました。

震災復興伝承館

「震災復興伝承館」ができました。

東日本大震災の記憶及び教訓を世界各地そして後世に伝承し、震災を風化させることなく、防災意識を醸成していくことを目的としています。

施設では、被災地語り部案内や防災・減災に関する講話など様々な活動を行っています。

平成 30 年 4 月に開校した閖上小中学校では、震災の経験も含めた防災教育を行っています。

「地域の防災拠点としての学校」を掲げて、東日本大震災の教訓を生かし、自ら命を守ることのできる防災意識を育てています。

また、津波避難ビルとしての施設・設備の充実を図り、地震・津波などの自然災害に備えた様々な対策を行っています。

閖上小中学校

これからは、震災の記憶や教訓を風化させない取組が大切になります。

4．閖上地区の災害対応と行動

地区で想定する災害

・閖上地区では、過去に地震、津波、水害のそれぞれで大規模災害が発生しています。このような**大規模災害は、いつ、どこで、どのような形で発生するかわからないため、日頃から大規模災害への備えが必要です**。

・また、近年の異常気象により、各地で時間雨量 100 ミリを超えるこれまで経験したことのないような豪雨が多発していることから、9・22 集中豪雨災害を上回る規模の水害が発生することも考えられます。名取川が氾濫した場合は、地区全体が浸水することも想定されます。

地震から命を守るために

■対応の基本

・まず自分と家族の身を守る。
・地域の公園など安全な場所に避難し、自主防災組織、町内会で安否確認を行う。
・集会所で炊き出しなどを行い、要支援者を支援する。

まず身を守る！　慌てずに落ち着いて行動！

・緊急地震速報や揺れを感じたら身を守り、夜間は、停電になっても慌てずに、けがをしないように落ち着いて行動しましょう。
・宮城県沖地震の教訓から、外にいるときや避難の際はブロック塀など倒れやすいものに気をつけましょう。

揺れが収まったら、火元の確認、隣近所に声掛け、情報入手

・火元や家族の安全を確認する。
・隣近所に声を掛け、お互いの安全を確認する。高齢者宅には、積極的に声掛けを。
・テレビやラジオ、インターネット（スマートフォンやパソコン）などで地震情報を入手する。
・避難などで家を離れる場合は、「通電火災」に備えてブレーカーを下ろす。

～「通電火災」～
「通電火災」とは、地震による停電が復旧した際、電気製品が再稼動したり、傷ついた電気コードがショートして、地震で散乱したものに引火する現象です。

避難の判断

・揺れを感じたら、身の安全を確保したのち津波の有無を確認しましょう。情報入手は、「名取市からの情報とさまざまな情報の入手先」（P２４掲載）を参考にしましょう。

・津波を伴わない地震の場合、自宅建物の被害の程度や個人の状況により避難の有無を判断しましょう。
自宅が安全と判断した場合も、いつでも避難できるように準備しておきましょう。

・避難する場合は、避難経路に沿って速やかに避難しましょう。

～「もしも、自宅以外で地震が発生したら・・・」～

地震は、必ずしも自宅にいるときに起きるとは限りません。
自分がいる場所に応じた行動をとりましょう。

屋内では

揺れを感じたら、姿勢を低くして机の下などに隠れて揺れが収まるまで待ちます。

車に乗っていたら

- 徐々に減速して、道路の左側に停止させましょう。
- 車を置いて避難するときは窓を閉め、ドアロックをせずキーを付けたままにしましょう。
- できれば連絡先を書いたメモをフロントガラス内側に貼り、車検証などの貴重品を持ち出しましょう。

電車にのっていたら

- つり革や手すりにつかまりましょう。
- 座っているときは、上体を前かがみにして、雑誌やバッグなどで頭を保護しましょう。
- 勝手に車外へ出ずに、乗務員の指示に従いましょう。

エレベーターに乗っていたら

- 全ての階のボタンを押し、停止した階で降りましょう。
エレベーターを出たら階段を使って避難します。
- 閉じ込められたときは、落ち着いて救出を待ちましょう。

水辺にいたら

- 海岸や河川から離れ、少しでも早く、高いところに避難しましょう。
- 揺れが小さくても津波が起こることがあります。
まずは避難しましょう。

地下街にいたら

- 非常口を探して地上へ脱出し、係員の指示に従いましょう。

津波から命を守るために

■対応の基本

・強い揺れや長い揺れを感じたら、津波を想定してすぐに逃げる。
・津波から命を守るために率先して避難する。
・『津波避難の３原則』を意識する。（Ｐ８掲載）

大津波警報や津波警報の発表時にとるべき対応

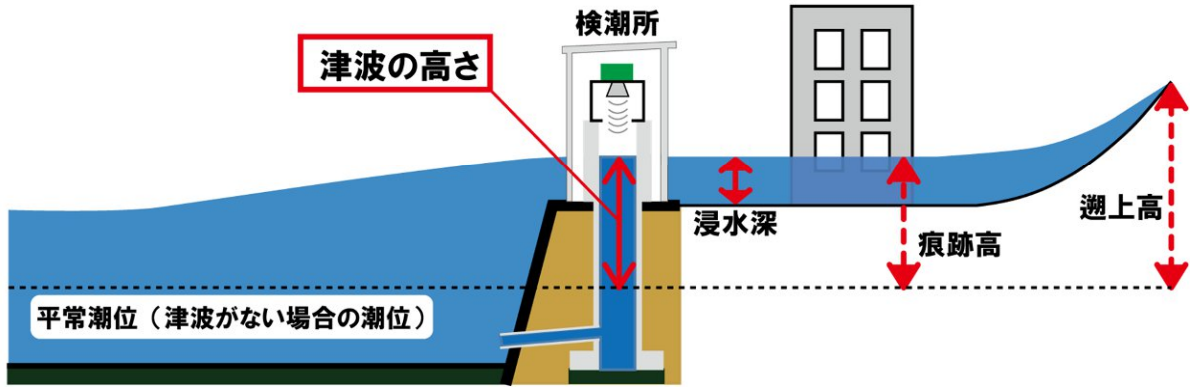
名取市では、大津波警報などが発表された場合、避難指示を発令しますが、**強い揺れを感じたり、弱くてもゆっくりとした揺れが続いた場合は発令を待たずに避難を開始してください。**

種類	発表される津波の高さ	発令種別	発令区域	行動
大津波警報	3m 以上（巨大）	避難指示	閖上、下増田地区全域	近くの避難所等に直ちに避難
津波警報	1～3m 未満（高い）		仙台東部道路から東側	
津波注意報	1m		貞山堀から東側	

～「予想される津波の高さ」～

「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位（平常潮位）から、津波によって海面が上昇したその高さの差を言います。気象庁が津波情報で発表している「予想される津波の高さ」は、海岸線での値です。場所によっては予想された高さよりも高い津波が押し寄せることがあり、その旨を津波情報に記載することでお伝えしています。

検潮所における津波の高さと浸水深、 痕跡高、 遡上高の関係



※「津波について」（気象庁）より引用

命を守るための避難を！

・１分、１秒でも早く津波の来ない場所に避難しましょう。
・閖上地区の指定緊急避難場所５か所はすべて、津波緊急避難場所でもあります。
・徒歩での避難が原則ですが、車で避難の場合は渋滞などの状況を確認の上、仙台東部道路より内陸側へ避難しましょう。

閖上地区の指定緊急避難場所

名称	住所
閖上公民館	閖上中央一丁目 34 番地
閖上小中学校	閖上西一丁目 25 番地
閖上中央第一団地	閖上中央一丁目地内
閖上中央第二団地(集合)	閖上中央二丁目地内
名取市サイクルスポーツセンター	閖上字東須賀 2-20

※いずれも「津波」「風水害」災害が対象
※上記以外でも安全な場所へ避難してください。

～津波避難の３原則～

津波避難の３原則は、群馬大学大学院の片田敏孝教授が提唱するもので、東日本大震災の大津波襲来の際に釜石市内の児童・生徒が忠実に実行した結果、多くが無事であった事例から、防災教育で繰返し教えられているものです。

津波から命を守るためには、**「素早い避難」**が重要です。

原則１．想定にとらわれるな！

ハザードマップはあくまで想定であり、ハザードマップ通りに津波が来るとは限りません。想定にとらわれず避難をしましょう。

原則２．その状況下で最善を尽くせ！

ここまで逃げれば大丈夫と考えるのではなく、その時できる最善の行動をとることが重要です。

原則３．率先避難者たれ！

いざというときなかなか「逃げる」という決断ができませんが、自分が率先避難者になるよう、勇気をもって行動に移しましょう。あなたの行動が周囲の人の命を救うことにもつながります。

風水害から命を守るために

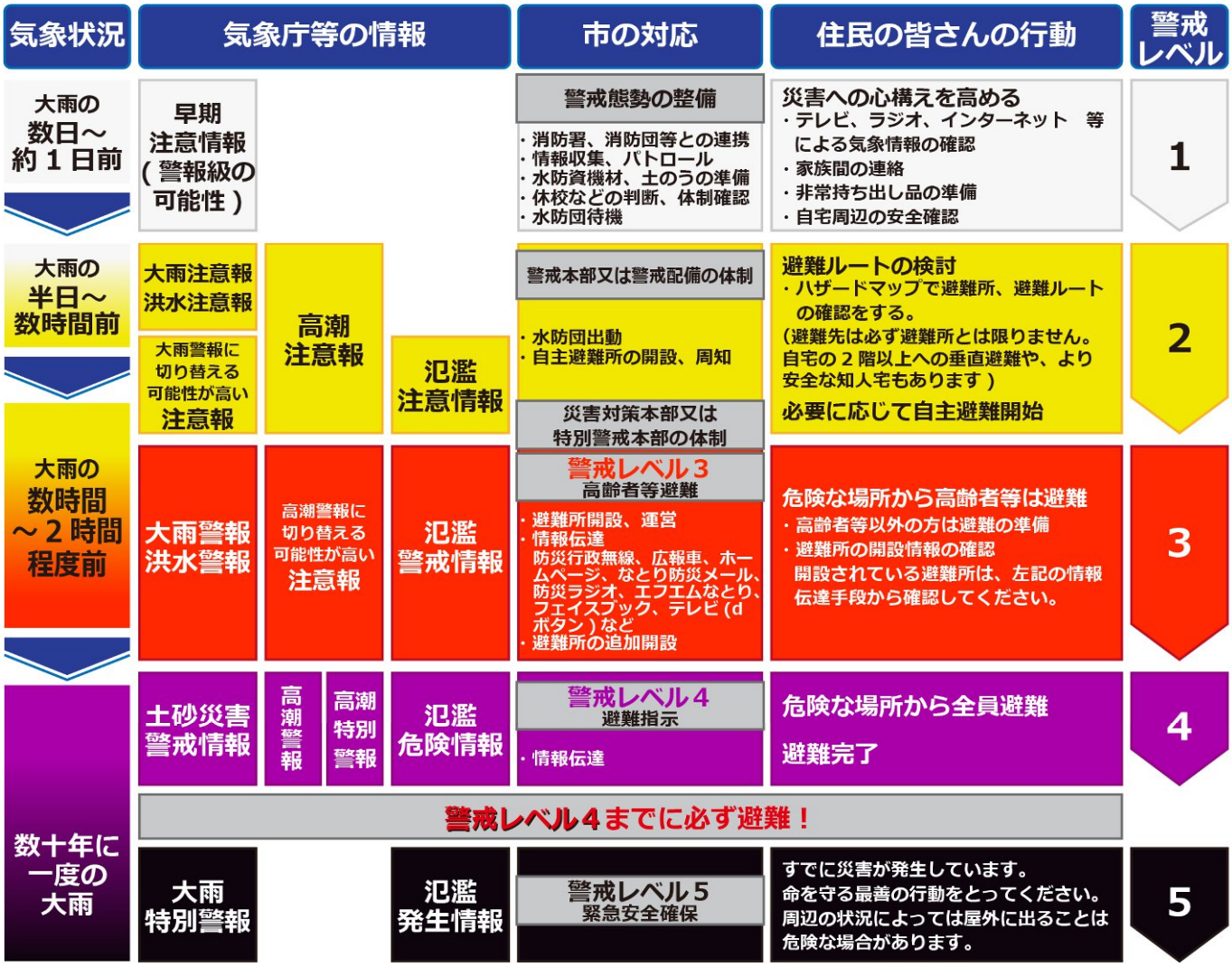
■対応の基本

・テレビ、ラジオなどからの気象情報等の情報に注意し、万が一に備える。
・浸水しない安全な場所に避難する。急な降雨や浸水など、外に避難することがかえって危険な場合は、建物の安全を確認し、自宅や建物の２階以上に**垂直避難**する。
・早めに避難し、浸水してからの避難は極力避ける。

気象情報の種類と意味

風水害は、「大気の状態が非常に不安定になっているとき」に発生します。

災害の恐れがある場合、気象庁はさまざまな防災気象情報を発表します。名取市は気象庁からの情報を参考に、避難に関する情報を発令します。防災気象情報が出されるタイミングやその意味を理解し、いざという時の避難に役立てましょう。



（「避難勧告などに関するガイドライン」（内閣府）に基づき作成）

※上図は、令和３年６月頃に予定される制度変更を反映させたものです。これまでの、警戒レベル３「避難準備・高齢者等避難開始」は「高齢者等避難」に、警戒レベル４「避難勧告」と「避難指示（緊急）」は「避難指示」に、警戒レベル５「災害発生情報」は「緊急安全確保」として運用されます。

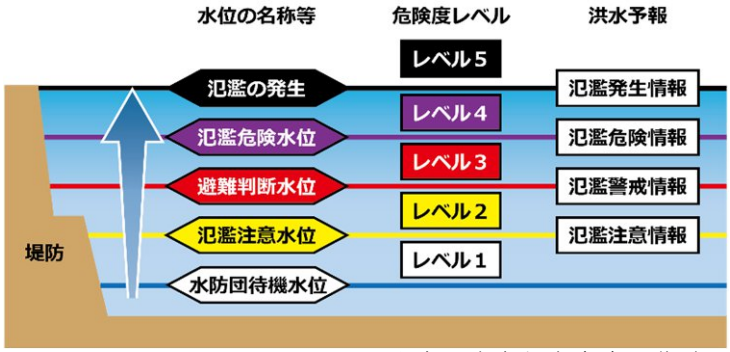
※最新の気象情報や市の発信する情報に注意しましょう。

河川の近くでは十分に注意を

主要な河川に氾濫のおそれがある場合、洪水予報が発表されます。国管理河川は気象庁と国土交通省が、都道府県管理河川は気象台と都道府県がそれぞれ共同して予報を出します。

（名取川は洪水予報が発表される河川です）

河川の水位と洪水予報の種類



※国土交通省資料を参考に作成

防災気象情報は、以下から入手できます。

気象庁 仙台管区気象台	気象庁 台風進路情報	名取市防災情報 Twitter
天気予報、気象注意報・警報や防災気象情報を配信しています。	台風の進路に関する情報を配信しています。	気象庁から防災気象情報が発表された場合に、情報提供をしています。

～QR（キューアール）コード～

スマートフォンやタブレットなどで読み取れます。

Android のカメラで撮影するか Googlechrome で撮影

iPhone のカメラで撮影

日頃から防災意識を高め、災害時には自ら情報を得て**「自分の命は自分で守る」**行動ができるようにしましょう。

家族で避難方法を決めておきましょう！

「閖上地区防災マップ【洪水浸水予測版】」（P17、18に掲載）で、危険な場所と安全な場所を確認し、日頃から家族で避難場所・避難経路、安否確認方法、集合場所を確認しておきましょう。

～「指定避難所」と「指定緊急避難場所」～

「指定避難所」と「指定緊急避難場所」の違いはつぎのとおりです。

名称	記号	説明
指定 避難所		災害により自宅へ戻れなくなった人たちが一時的に滞在する施設です。被災した人が次の住まいを確保するまでの間、生活する場所になります。 閖上地区では、２か所指定されています。（裏表紙に掲載）
指定緊急 避難場所	 津波　風水害	災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定されます。 指定避難所が指定緊急避難場所を兼ねることもあります。 閖上地区では、５か所指定されています。（裏表紙に掲載）

5．閖上地区の災害予防と行動

みんなで災害予防活動に取り組みましょう。

個人でできること（自助）

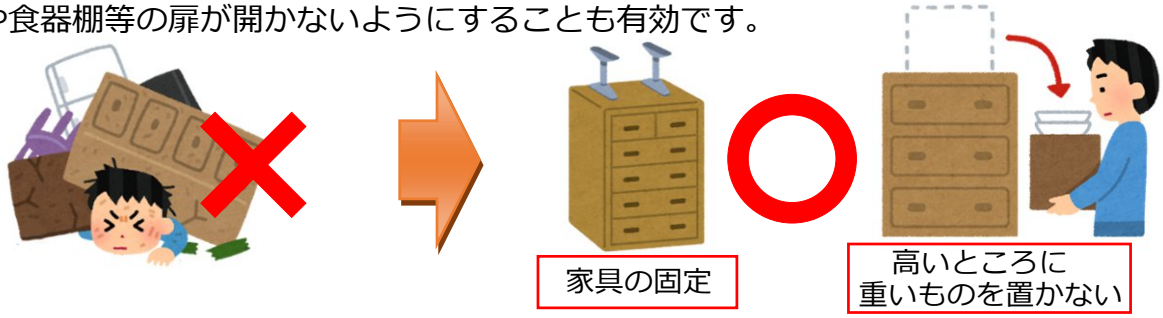
転倒防止対策の実施

阪神・淡路大震災では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。**大地震が発生したときには家具は必ず倒れるものと考え**、転倒しないよう固定しましょう。

また、倒れた時に出入口をふさいだりしないよう、配置や向きを工夫しましょう。

なるべく背の低い家具にしたり、寝室や子供部屋にはできるだけ家具を置かないようにしたり、高いところには重い物を置かないようにしましょう。

タンスや食器棚等の扉が開かないようにすることも有効です。



家具の固定

高いところに
重いものを置かない

非常持出品と災害備蓄品の準備

自分で持てる程度の非常持出品を用意するとともに、いざという時のために災害備蓄品として、飲料水や食料、懐中電灯や携帯ラジオ、救急用品などを準備しましょう。

備蓄品は、**「家族の人数×３日分」**が目安です。

～主な非常持出品・災害備蓄品～

１人１日
３リットル

非常食(缶詰、レトルト食品など)
３日分

携帯ラジオ、
懐中電灯、乾電池

マスク、消毒液、
体温計

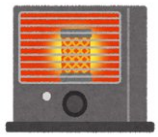
カセットコンロ、
コンロ用ボンベ、
ラップ

紙おむつ、粉ミルク、
哺乳瓶など

救急箱、靴、軍手
現金など

常備薬、お薬手帳
保険証

ペットフード
ペット用水



石油ストーブ

備蓄品
チェックリスト

ご家庭での備え

※内閣官房
内閣広報室サイトより

災害に対する話し合い、事前の取決め

この「地区防災マニュアル」や「市民防災マニュアル」などを見ながら、家族で避難の仕方や避難の場所を事前に話し合いましょう。家族が一緒の場合だけでなく、ばらばらのときの集合場所や連絡方法も確認しておきましょう。

防災訓練への参加

名取市総合防災訓練（令和２年 11 月）

自主防災組織や地区で開催される防災訓練に参加してみましょう。

訓練をしておくと、いざというときに行動に移すことができます。

隣近所とのコミュニケーション

災害時、いざいというときに頼りになるのは隣近所の方々です。そのような時にお互いに協力できるよう、日頃からコミュニケーションをとりましょう。

自主防災組織・町内会でできること（共助）

「自分たちの地域は自分たちで守る」ために、自主防災組織・町内会で協力しましょう。

災害時の役割分担の確認

・自主防災組織・町内会の中で、安否確認や避難誘導などの役割分担を確認しましょう。

地区防災訓練の実施

・いざというときに落ち着いて行動できるように、避難訓練、消火訓練、応急手当などの防災訓練を実施するとともに、転倒防止などの啓発を行いましょう。

・避難所となる学校や公民館を使用して、防災訓練を行うことも有効です。

地区防災講座・防災研修会の実施

・地区防災講座や防災研修を企画し、情報交換を行うことにより自主防災活動のさらなる向上を目指しましょう。

防災資機材の整備

・地区集会所などに食料・水などの物資の備蓄や、防災資機材を整備し、いざというときに使用できるようにしておきましょう。
・指定避難所等には防災倉庫が設置されています。

防災倉庫

～「指定避難所」の開設・運営への協力について～

名取市では東日本大震災当日、約 50 か所の避難所に約１万１千人が避難し、停電で真っ暗な中、余震などで不安な夜を過ごしました。長期の避難生活を余儀なくされた方は、地域の皆さんの温かい支援などにより、避難所の自主運営を行いました。

避難所運営には、地域住民や避難者のみなさんの協力が不可欠です。災害に備えて、普段から避難した後の行動や生活をイメージしておきましょう。

避難所が開設されたら、市や施設職員、自主防災組織に協力をお願いします。

【避難時の注意事項】

・避難する際には、自宅の電気のブレーカーを下ろしガスの元栓を閉め、非常持出品を持って避難しましょう。困っている人には、声をかけ、積極的な支援をお願いします。

【指定避難所の安全確認、避難所の開設・避難者の収容】

・市職員や施設職員が建物の安全確認を行います。
指定避難所では、建物の安全が確認されるまで、なるべく町内会ごとに建物の外で待機し、職員などの指示に従い避難所に入ってください。

【初期の避難生活】

・避難人数の確認、避難者名簿の作成、簡易トイレの設置、市からの食料・物資の配布などについて、協力をお願いします。小中学校と公民館には市の防災倉庫があり、発電機や投光器、簡易トイレなどの備蓄品が配備されています。

【長期の避難生活】

・町内会などの単位で班を編成し、避難所自主運営組織を作り、役割分担を定め、避難生活を行います。
救援物資は、発災直後は届きません。市からの支援が届くまで、各自で食料や防寒着、ミルクやオムツ、毛布などを持ち寄ることが重要です。

～避難所での感染症対策について～

避難所では多くの人が集まります。各自で感染対策を行い、すこしでも安心して過ごせるようルールを守り、助け合いながら生活を送りましょう。

マスク、消毒液、体温計などは個人で用意しておきましょう。

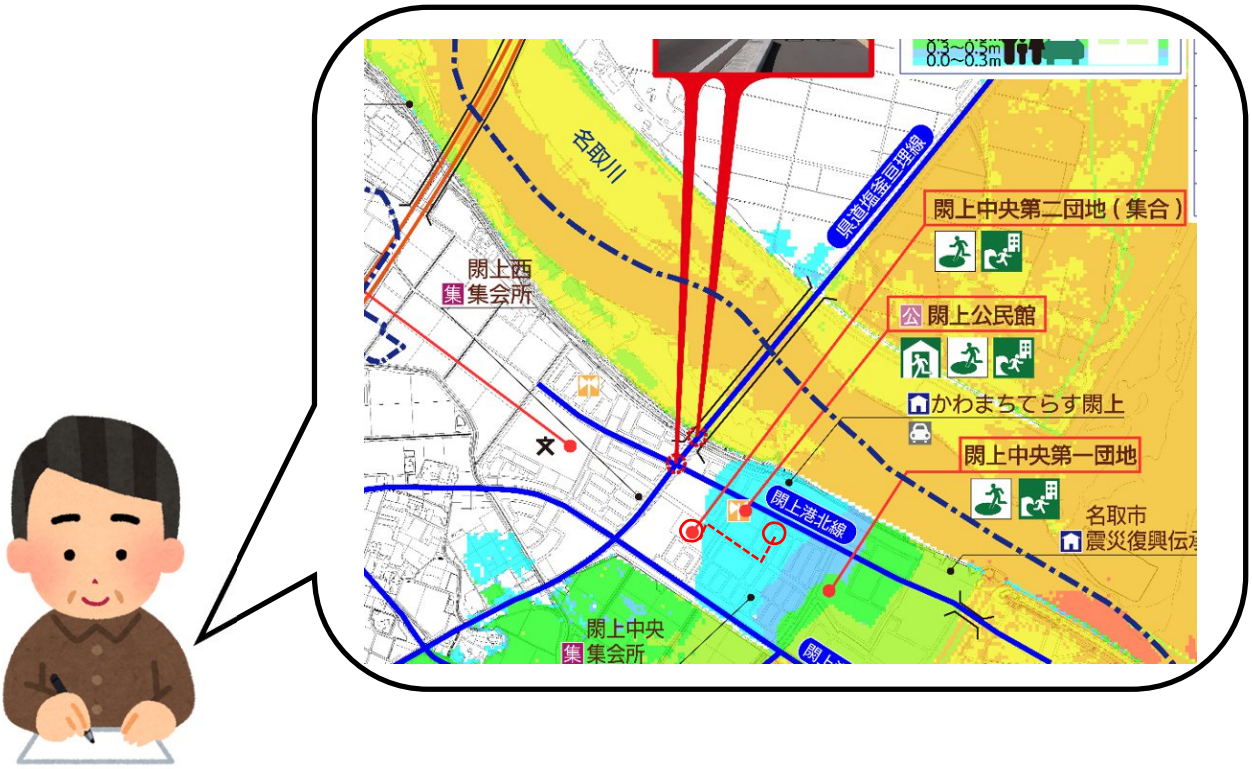
■マスクの着用　■定期的な換気
■手指の消毒　■定期的な清掃と、整理整頓
■咳エチケット　■衛生面に配慮したごみの分別

6．閖上地区防災マップ

防災マップに書き込みましょう

防災マップに、自宅の場所の印をつけ、家族で話し合った避難場所にも印をつけましょう。

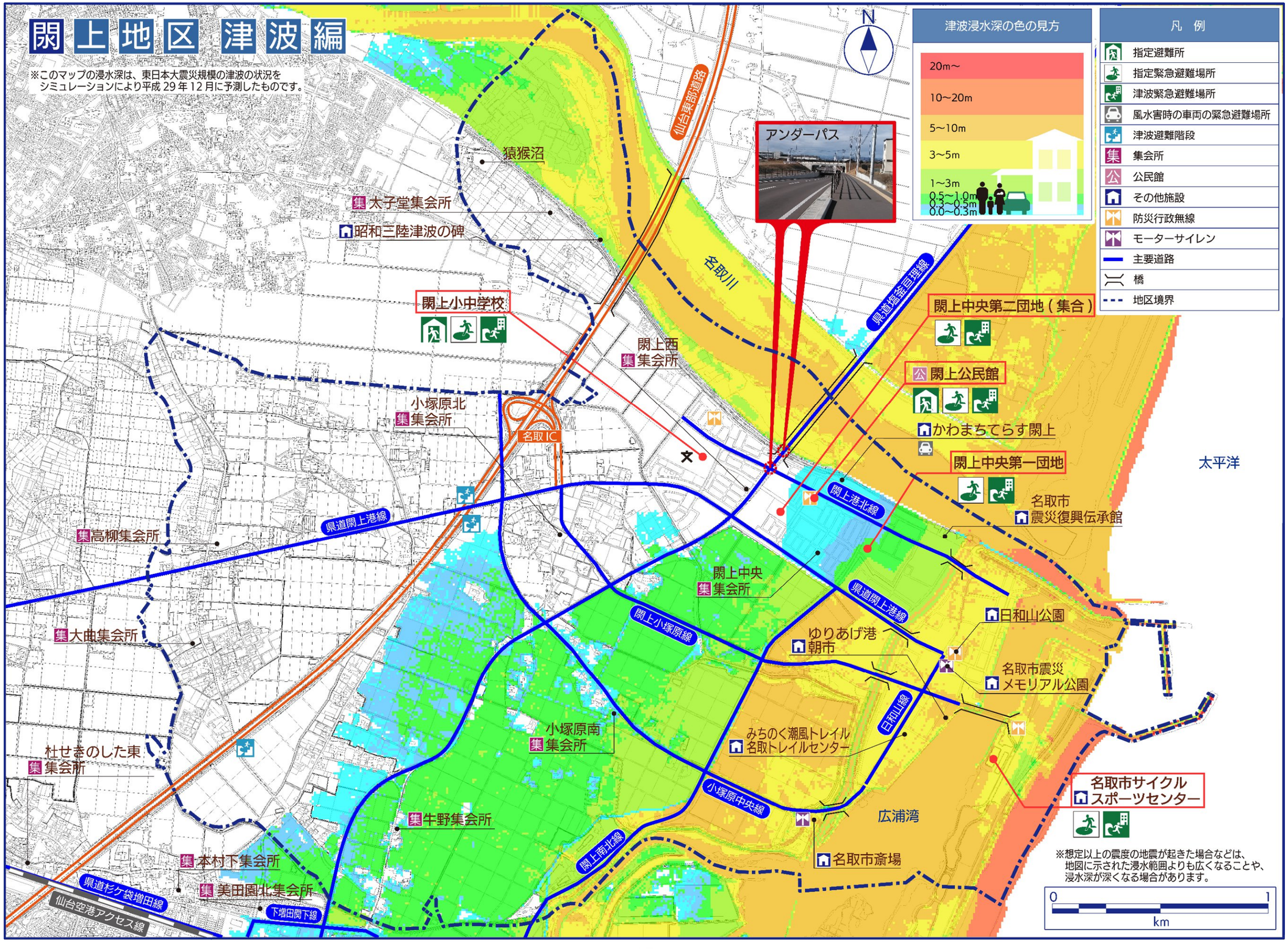
自宅から避難場所までの避難経路も書き込み、実際に避難経路を通ってみて、危険な場所、安全な場所を確認しておきましょう。



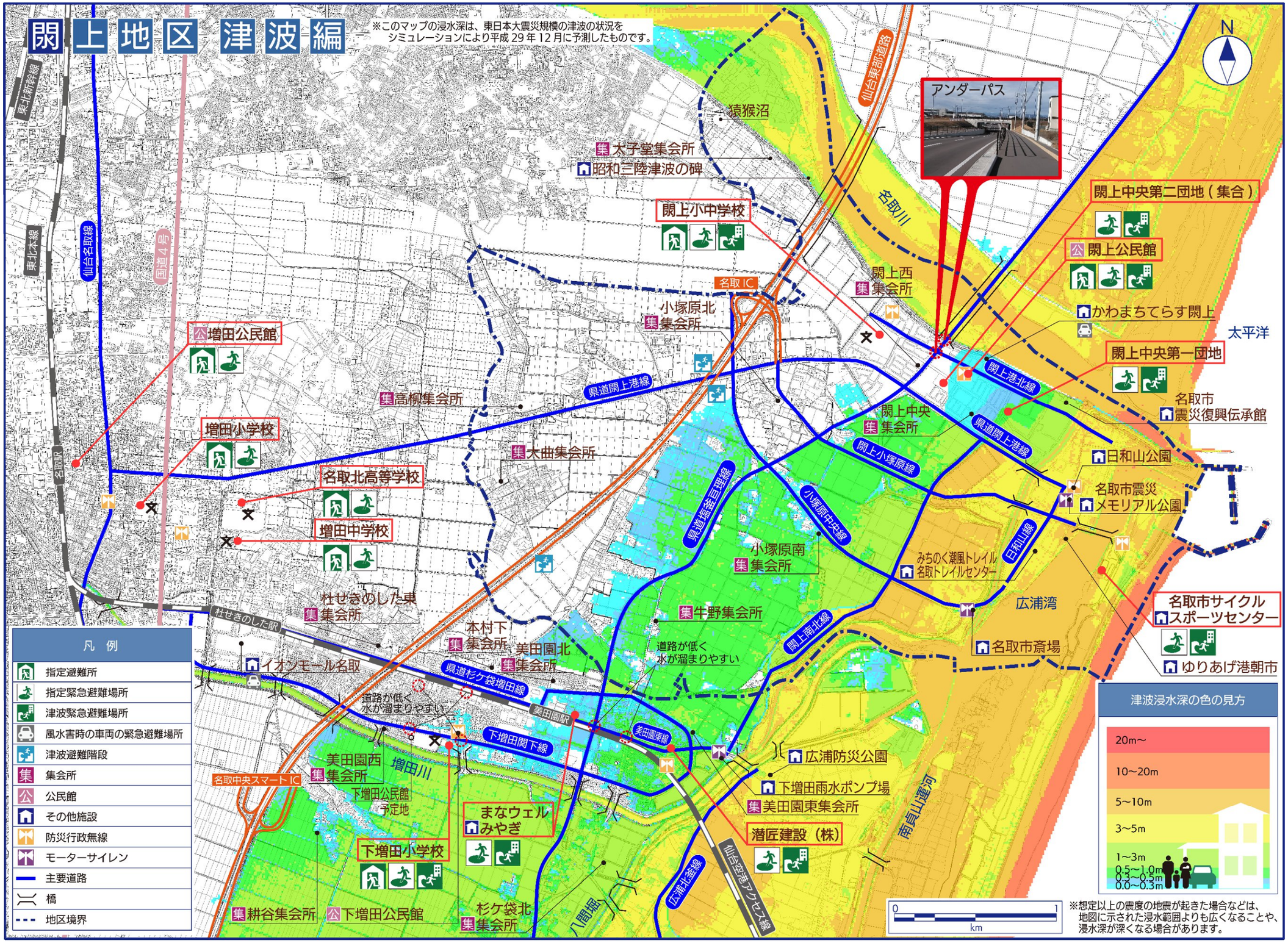
なお、マップに示す浸水範囲・深さは「想定以上の震度の地震が起きた場合」や、「雨の降り方などの気象条件や土地利用条件」によってはマップに示された浸水範囲よりも広くなることや、浸水深が深くなる場合がありますので注意が必要です。

6．閖上地区防災マップ【津波浸水予測版】

※裏面に「広域表示」を掲載しています

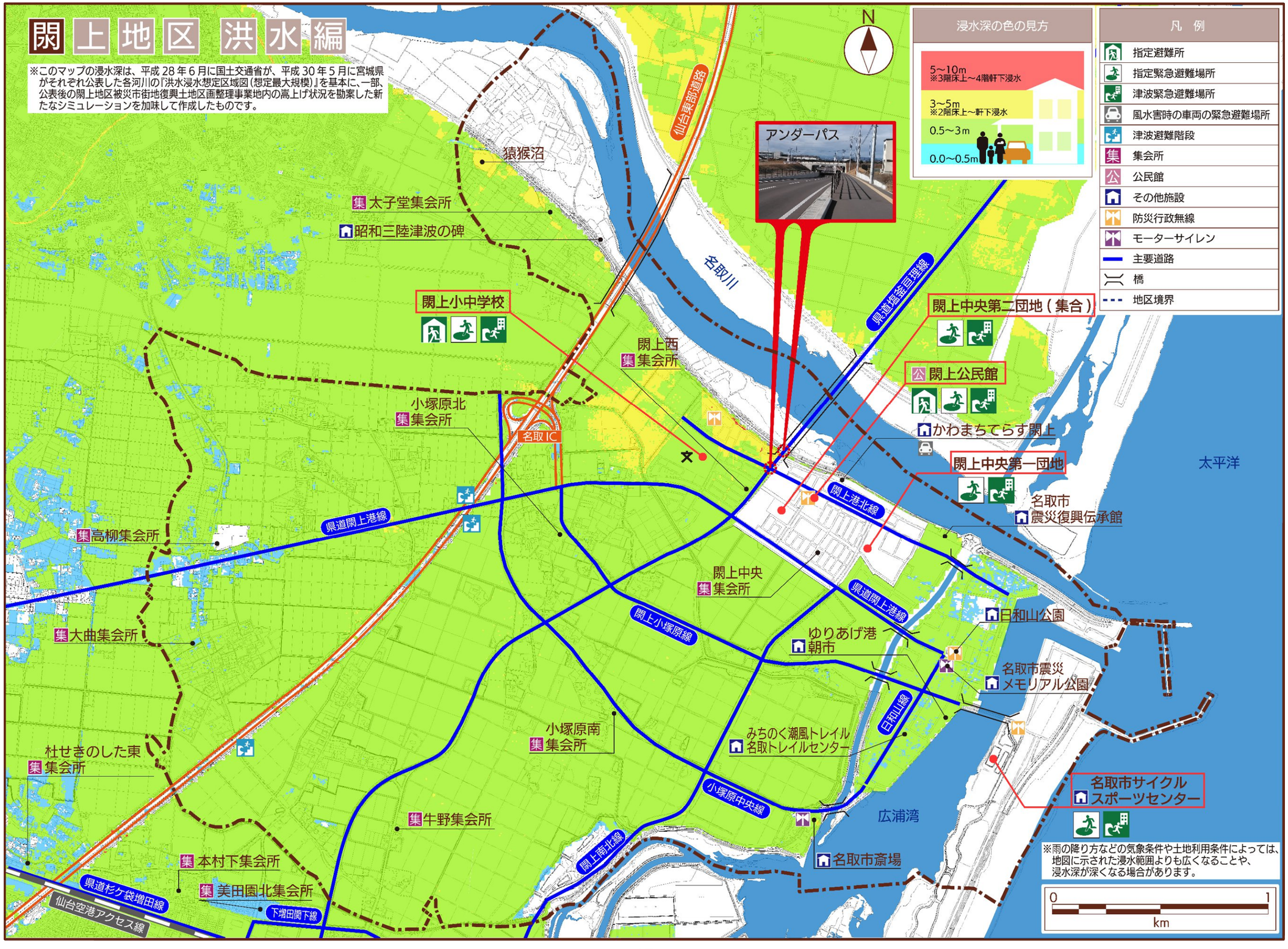


6．閖上地区防災マップ【津波浸水予測版】広域表示

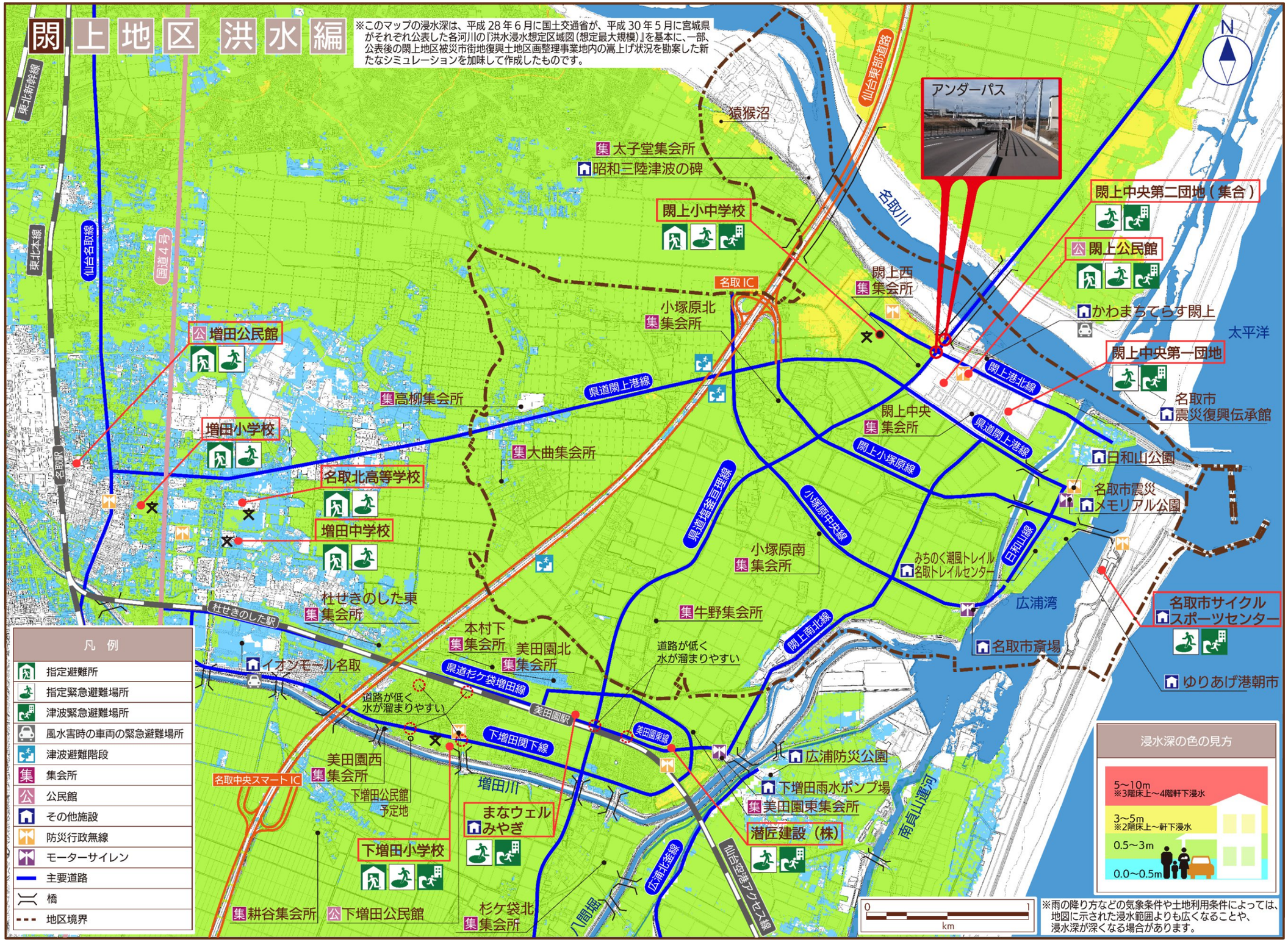


6．閖上地区防災マップ【洪水浸水予測版】

※裏面に「広域表示」を掲載しています



6．閖上地区防災マップ【洪水浸水予測版】広域表示



7．平成２８年～令和２年の災害と教訓

全国で発生した災害から災害時の行動を考えましょう。

災　害	状　　況	教　　訓
熊本地震 （H28.4.14：前震） （H28.4.16：本震） （最大震度 7）	14 日 21 時 26 分頃、熊本県熊本地方を震源とする地震（前震）が発生し、益城町で震度 7 を観測した。さらに 28 時間後の 16 日 1 時 25 分頃、熊本地方を震源とする地震（本震）が発生し、西原村と益城町で震度 7 を観測した。	家屋の倒壊や土砂崩れにより 50 人が亡くなった。 ⇒古い家屋の耐震化、家具の固定。本震と同程度の前震や余震の可能性。
大阪北部地震 （H30.6.18） （大阪北部で観測史上最大の震度 6 弱）	7 時 58 分頃、大阪府北部を震源とする地震が発生し、大阪府 5 市区で震度 6 弱を観測した。ブロック塀倒壊による死者も発生した。	これまで確認されていなかった断層による地震。 ⇒地震はどこでも起こりうる。常に備えが必要。
平成 30 年 7 月豪雨 （H30.6.28～7.8） （総雨量 1,800mm 超）	台風 7 号と梅雨前線の影響により西日本を中心に大雨となった。広島県の土砂災害や岡山県倉敷市真備町の浸水被害により多くの死者が発生した。水害による死者が 100 人を超えたのは、平成に入ってからは初めてであった。	夜間に避難勧告や指示が出されることもある。真備町では、多くの人が 1 階で亡くなっている。⇒事前の情報で早めの避難を検討する。避難が難しくなった場合は、垂直避難を。
北海道胆振東部地震 （H30.9.6） （最大震度 7 の直下地震）	3 時 7 分頃、北海道胆振地方中東部を震源とする地震が発生した。震度 7 を観測した厚真町では、土砂崩れにより 36 人が亡くなった。道内の半分以上の電気を供給していた火力発電所が被災し、大規模な停電が発生した。	震源から離れた場所でも、1 日以上停電が継続した。⇒常に災害に対する備えをしておく。
令和元年東日本台風 （R1.10.12） （関東・甲信・東北地方で記録的な大雨）	12 日に伊豆半島に上陸し、関東地方と福島県を縦断した。台風接近に伴い、各地で大雨となり 13 都県で大雨特別警報が発表された。気象庁は通常より早く、9 日に早期警戒を呼び掛ける第 1 報を出した。	台風上陸の 3 日前から、警戒情報が発出される。⇒事前に準備し、行動パターンを決めておく。
令和 2 年 7 月豪雨 （R2.7.3～7.31） （熊本を中心に九州や中部地方で集中豪雨）	停滞した梅雨前線の影響により、日本各地で大雨となった。特に 3 日から 8 日にかけては、九州で多数の線状降水帯が発生した。熊本では、3 日夕方時点で、4 日 18 時までの 24 時間雨量が 200mm と予想されていたが、実際には 400mm を超えた。	線状降水帯の発生により局地的な大雨となったが、線状降水帯の予測は難しい。⇒気象情報をこまめにチェックする。いつもと違うと感じたら早めに避難をする。

8．我が家の防災メモ・防災カード

防災メモ　ー家族の状況ー

氏　　名 生年月日 血 液 型	かかりつけの病院 持 病 ・ 常 備 薬	携 帯 電 話 番 号 会 社 ・ 学校等の名称 会社・学校等の電話番号
年　　月　　日 型（Rh　＋・－）		
年　　月　　日 型（Rh　＋・－）		
年　　月　　日 型（Rh　＋・－）		
年　　月　　日 型（Rh　＋・－）		
年　　月　　日 型（Rh　＋・－）		
避難場所		
家族の集合場所		

防災メモ　ー我が家の状況ー

東日本大震災での状況		家具の転倒　　有　・　無
平成６年　９・２２集中豪雨の時の状況		床上浸水　・　床下浸水　・　浸水なし
建築年	昭和　・　平成　・　令和　　年　（昭和５６年より 前　・　後　） ※昭和５６年以前の建物は耐震診断を受けましょう	
家屋の構造	平屋　・　２階以上　／　木造　・　軽量鉄骨	
	平屋の場合：浸水時の避難先　［　　］	
自宅の周辺	浸水しやすい地域に　ある　・　ない	
	近くにがけや斜面などが　ある　・　ない	
	風で飛ばされやすいものが　ある　・　ない	
災害時の備え	非常持出品の用意　有　・　無	
	災害備蓄品の用意　有　・　無	
	携帯ラジオの用意　有　・　無	
	消火器の用意　有　・　無	

防災メモ

防災カード

家族の基本情報を書き込み、コピーしてかばんなどに携帯しましょう。

● 家族の基本情報

ふりがな
名前　：　続柄：

生年月日：　年　月　日

血液型　：　型（Rh　＋　－）

〒　－

住所

山折り

電話　携帯：　－　－
自宅：　－　－

勤務先または
通う学校　電話：　－　－

●伝えておきたいこと
お薬
持病
アレルギー
その他

● 家族の基本情報

ふりがな
名前　：　続柄：

生年月日：　年　月　日

血液型　：　型（Rh　＋　－）

〒　－

住所

山折り

電話　携帯：　－　－
自宅：　－　－

勤務先または
通う学校　電話：　－　－

●伝えておきたいこと
お薬
持病
アレルギー
その他

● 家族の基本情報

ふりがな
名前　：　続柄：

生年月日：　年　月　日

血液型　：　型（Rh　＋　－）

〒　－

住所

山折り

電話　携帯：　－　－
自宅：　－　－

勤務先または
通う学校　電話：　－　－

●伝えておきたいこと
お薬
持病
アレルギー
その他

● ペットの基本情報

ふりがな
名前　：　種類：

生年月日：　年　月　日　♂・♀

かかりつけ医

電話：　－　－

●伝えておきたいこと（特徴・病気・ごはんなど）

ふりがな
名前　：　種類：

生年月日：　年　月　日　♂・♀

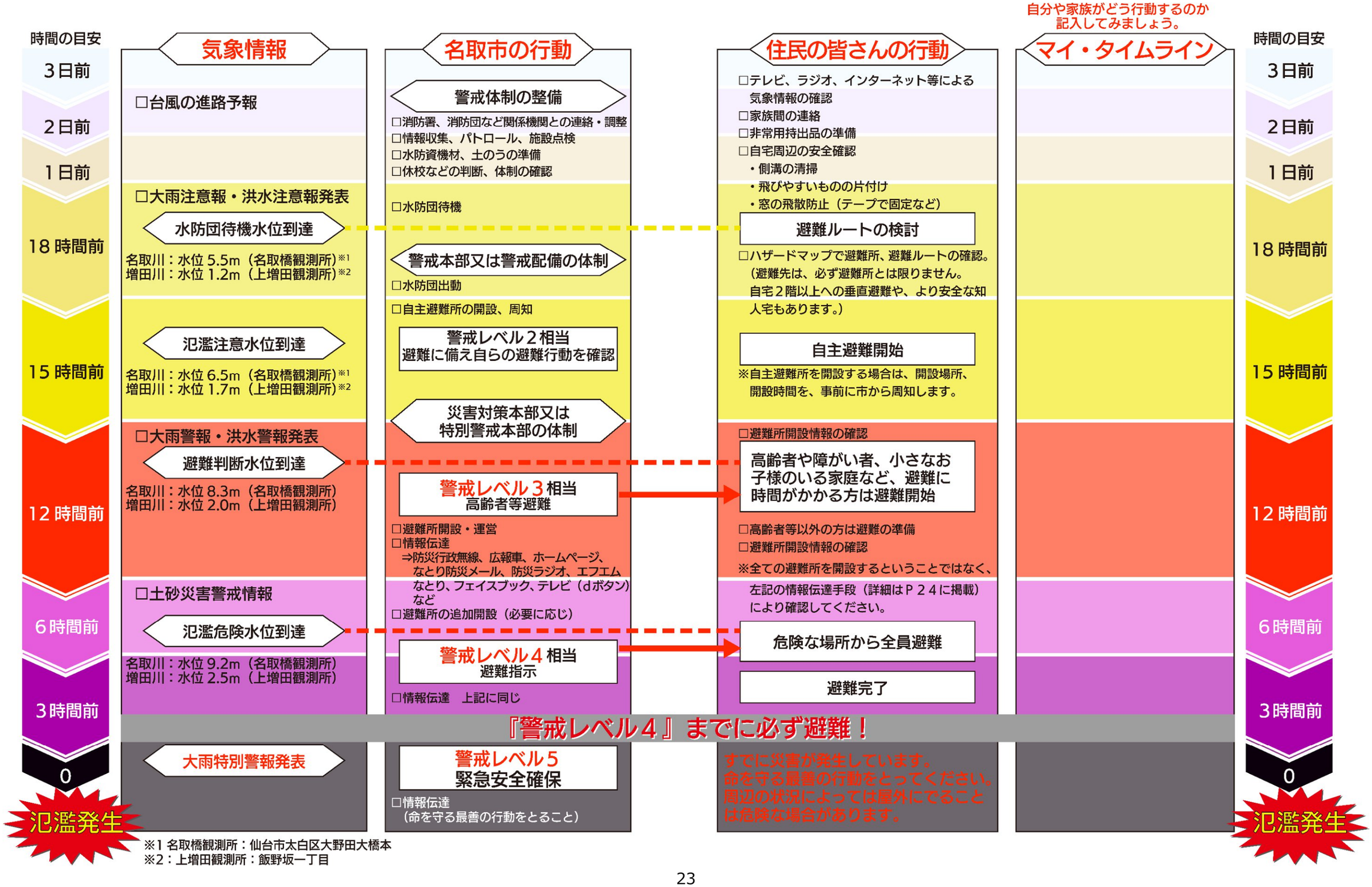
かかりつけ医

電話：　－　－

●伝えておきたいこと（特徴・病気・ごはんなど）

9. マイ・タイムラインシート

マイ・タイムラインとは、台風や大雨などの風水害の発生に備えて、一人ひとりの家族構成や生活環境などに合わせて、あらかじめ作成する自分自身の避難行動計画のことです。
自分や家族の行動について、「いつ」「だれが」「何をするのか」を時系列で整理することによって、いざという時にあわてず、安全に避難できるよう、「自分の逃げ方」を見つけましょう。



※1 名取橋観測所：仙台市太白区大野田大橋本
※2：上増田観測所：飯野坂一丁目

１０．名取市からの情報とさまざまな情報の入手先

日頃から、情報の種類と入手先を確認しておきましょう。

名取市からの情報	防災行政無線	市役所と各地区公民館などに設置した、屋外スピーカー（屋外拡声子局）から放送を流します。
	モーターサイレン	沿岸部の３ヶ所（日和山中継局、名取市斎場、下増田雨水ポンプ場）に設置したモーターサイレンから、大津波警報や津波警報の発表をお知らせします。
	防災ラジオ	エフエムなとり（なとらじ 80.1MHz）を通じて、自動で起動・同調する緊急告知ラジオを有償配布しています。
	なとり防災メール	市民の皆さんの安全の確保、不安の解消に役立てていただくよう、緊急時に地震・防災情報などをメール配信しています。受信するためには登録が必要です。 メールで登録する方法　登録フォームから登録する方法
	名取市防災情報 Twitter	警報、注意報、特別警報や警戒情報が気象庁から発表された場合に、情報伝達手段のひとつとして情報提供を行います。
さまざまな情報の入手先	気象庁 仙台管区気象台	天気予報、気象注意報・警報や防災気象情報を配信しています。
	気象庁 地震情報	地震に関する情報を配信しています。
	気象庁 台風進路情報	台風の進路に関する情報を配信しています。
	テレビ(地上デジタル) ｄボタン	ご家庭のテレビで確認できます。 リモコンのｄボタンを押すと、 データ放送画面が表示されます。
	緊急速報メール	NTT ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話に送信されます。 ※情報は発信時点で市内にいる人に配信されます。また、機種により、設定が必要なものや受信できないものがあります。
	災害用伝言ダイヤル 171	家族などの安否確認が確認できます。

なお、名取市公式のホームページやフェイスブックでも様々な情報を発信しています。

閖上地区の指定避難所

名称	住所	電話番号
閖上公民館	閖上中央一丁目 34 番地	０２２－３８５－０００５
閖上小中学校	閖上西一丁目 25 番地	０２２－３８５－８１８０

令和３年３月現在

閖上地区の指定緊急避難場所

名称	住所	避難の対象となる災害	
		津波	風水害
閖上公民館	閖上中央一丁目 34 番地	○	○
閖上小中学校	閖上西一丁目 25 番地	○	○
閖上中央第一団地	閖上中央一丁目地内	○	○
閖上中央第二団地(集合)	閖上中央二丁目地内	○	○
名取市サイクル スポーツセンター	閖上字東須賀 2-20	○	○

令和３年３月現在

災害時の連絡先

区分	名称	電話番号
市役所	名取市役所	０２２－３８４－２１１１
警察　１１０	岩沼警察署	０２２３－２２－４３４１
消防　１１９	名取市消防本部	０２２－３８２－０２４２
名取市休日夜間急患センター		０２２－３８４－０００１
災害伝言ダイヤル		１７１

親戚・知人などの連絡先

氏名	電話番号	備考

名取市総務部防災安全課

〒981－1292 名取市増田字柳田 80

電話 022－384－2111